

事務事業評価資料

施策名	体験教育の推進		所管部局課名	教育委員会事務局 高校教育課					
事業名	高校生就業体験事業 ～インターンシップ推進プラン～		担当者電話番号	教育指導係 078-362-9444					
事業目的	社会人・職業人としての基礎的な資質の養成								
事業内容	学習内容や進路に関連した就業体験(インターンシップ)を実施 対象 全県立高校2年生 実施期間 3日間程度			事業開始年度	平成17年度				
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(14,137 千円) 14,137 千円		(14,048 千円) 14,048 千円		(12,644 千円) 12,644 千円			
	人件費	2,541 千円	従事人員 0.3人	2,508 千円	従事人員 0.3人	2,461 千円 従事人員 0.3人			
	総コスト (+)	16,678 千円	従事人員 0.3人	16,556 千円	従事人員 0.3人	15,105 千円 従事人員 0.3人			
事業の目標	全県立高校で実施			【目標設定理由】 社会人・職業人としての基礎的な資質を養成するため、全県立高校で実施					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H20	H21	H22
	実施校数	全県立高校	毎年度	156校 (107 千円)	153校 (108 千円)	152校 (99 千円)	100%	100%	100%
評価結果	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 社会構造が大きく変化し、雇用の多様化・流動化が進む中、「働くこと」への関心・意欲を高める必要がある。 生徒一人一人が望ましい勤労観・職業観を身につけることができるよう、職業教育・キャリア教育の充実に取り組む必要がある。 生徒の発達段階に応じた体系的な兵庫型体験活動の充実を図っていく必要がある。 							
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> 全県立高校で実施することで、社会人・職業人としての基礎的な資質の養成につながっており、有効な事業である。 将来目指す職業に関わるインターンシップが実施され、社会人・職業人としての基礎的な資質の養成が図られている。 参加した生徒からは、「仕事の内容を理解するだけでなく、仕事の意義も知ることにつながった。」などの感想があがっている。 事業を通じ、生徒が自己の将来の在り方について考え、目標を持った主体的な進路選択を図ることにつながっている。 							
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 生徒移動経費を受益者負担とし、受益と負担の適正化を図る(平成20年度)とともに、生徒の保険料について、適用期間を一律ではなく、就業体験の実施期間を考慮して積算する等見直しを図った。(平成21年度) 実施後は、事業報告会を行い、実践発表やシンポジウムを通じて情報の共有を行うなど、効率的な事業執行方法となるよう努めている。 							
	民間・市町との役割分担	県立高校在校生の就業体験事業であるため、県で実施する。							
	受益と負担の適正化	<ul style="list-style-type: none"> 授業の一環として実施するものであり、直接的な授業経費については、新たな負担を求める必要はない。 生徒移動経費を受益者負担とし、受益と負担の適正化を図った。(平成20年度) 							
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	継続 凍結(休止)	実施手法の見直し 延長 終期設定				
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	より効果的な事業内容・執行方法について、引き続き検討のうえ実施								